

「子は宝」少子化時代だからこそ遅しく 寄り添う子育てを考える



まごころ保育園 園長 中瀬 由美

13年目を迎え、4月は園児57名でスタートしました。平常な毎日に戻りつつありますが、コロナの影響は大きな打撃で少子化が急速に進み、園児の入所人数が減っています。また、コミュニケーションを我慢しなければならなかった約3年間。生まれたばかりのお子さんは3才。心と体がバランスよく成長につながる様々な経験を制限されたことは、この子たちの10年後、20年後がとても心配でもあります。「子は宝」と昔から申しますが、宝が減っている現状に、保育制度が次々と変動し、強風に耐えているような保育業界のように思います。しかし、まごころ保育園は、地域の方々や周りの施設の方々の暖かい見守りの中で、のびのびと自己発揮し自分らしくいられることや子ども達の元気な声に「いいね～」と話して下さる素晴らしい環境があります。感謝を忘れず「強固な宝」になるよう「今」を大切にしたい保育をさらに目指してまいります。



癒しがいっぱい「幌西ほうおん」

幌西ほうおん 管理者 富永 一史



幌西ほうおんに着任し、あっという間に2年目。利用者様の笑顔に癒され、本来のこの仕事の楽しさを実感しています。時には、送迎業務に、B型では、カード作業の見守りや café すみれ、それと生活介護では、私の大好きなお風呂介助の応援に入ることも。

課長・主任に事務員も良くサポートしてくれ、現場の職員さんたちも穏やかでおもしろく、また幌西地区の町内の方々も日頃からいっぱい応援してくれ…褒めてばかりですが、本当なのです。

そうそう、最近のエピソードを一つ。幌西ほうおん園のポチの足元に亀さんの置物が。この前は、お煎餅がおいてあり、子供らしき文字で「ポチたべてね」とのメッセージも。

ちなみに私はポチのクルっとしたシッポが大好き。良かったらみなさんもポチに会いに来てくださいね。

Caféには、きのこパスタをはじめ、美味しいものが沢山ありますよ～！

亀さん？

おしまい



幌西ほうおんは生活介護と就労継続支援 B 型の多機能型事業所として、今年で8年目を迎えました。今年は新たに3名の利用者様が加わり、生活介護28名、就労 B 型5名でスタートをしています。生活介護では、毎年畑に野菜を植えているのですが、今年は過去最多、20種類を植えました。出来た野菜は毎年、利用者様に持ち帰っていただいたりおやつ作りで使用していましたが、今年はカフェすみれの食事にも使用出来たらと考えています。カフェすみれと言えば、去年から常連のお客様が順調に増え、地域の方々との交流できる機会が増えています。今後も地域の方々との交流を続け、幌西ほうおんに来る方々が笑顔になれる場所にしていけたらと思います。

幌西ほうおん 支援主任 西野